

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)2月5日号 No.1915

目次

■ 2022年の日ロ貿易(速報値)	1
■ 統計速報	11
2022年の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績(速報値)／11	
■ エトセラ	12
「日本中央アジア・ビジネスダイアログ」開催のご案内／12	
■ トピックス	12
豊田通商など4社がウズベクテレコムから受注／12	
日本政府がロシアに追加制裁／12	
日立エナジーがロシア事業を売却／13	

2022年の日ロ貿易(速報値)

はじめに

日本財務省から2022年の貿易統計が発表されたことを受け、当会では2022年1～12月の日本とロシアの間の貿易に関して、米ドル換算するとともに、輸出入商品構成をまとめた。今回の速報では、早速この資料をお届けする。なお、今回紹介する2022年のデータはすべて速報値であり、確々報値は『ロシアNIS調査月報』2023年5月号に掲載する予定である。また、ロシア以外のNIS諸国との2022年の貿易額速報値を今号の統計速報のコーナーに掲載しているので、あわせてご参照いただきたい。本資料では財務省発表の円表示の貿易統計を独自にドル換算して示している。その際に、図表2、図表4～6、図表8～10は月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げているのに対して、図表3と図表7は年平均レートで単純に換算したものである。従って、各図表は総額が微妙にずれているのでご注意いただきたい。

解説

輸出入全般 2022年の日ロ貿易は輸出が46億6,596万ドル(前年比40.7%減)、輸入が151億9,001万ドル(7.7%増)、輸出入合計で198億5,597万ドル(9.6%減)となった(図表2)。ただし、円ベースで見ると、輸出は6,057億円(前年比29.8%減)、輸入が1兆1,590億円(26.2%増)、輸出入合計で2兆5,637億円(6.2%増)と、ドルベースでは前年割れした輸出入合計が、円ベースでは逆にプラスを示す結果となった。2022年前半から進行した円安の影響が明らかだが、日ロ貿易に限らずロシアとの貿易は、制裁の影響で「脱ドル化」が全般に進んでいるとみられ、日ロ貿易の場合も、より正確な実態を示しているのが、ドルベースなのか、あるいは円ベースなのか、判別しにくい状況が